

第9回新法人設立準備委員会 議事録

【日時】2025年4月22日（火）18:00～19:30

【場所】ふうれん地域交流センター

【参加者】 別紙

【決定事項】

① 人材募集についての現状の確認

→地域おこし協力隊2名（トレーナー1名、営業広報1名）の応募、面接を行った

→地域活性化企業人はスポーツ庁地域SC人材育成事務局相談中。またSPOPLA北海道に相談し、メルマガで募集記事掲載予定

② 統合スケジュールは以下の通り

5月下旬～6/6 名寄スポ協：監査

5/26 N スポ総会

5/30 風連スポ協総会 5/30

6/11 名スポ協理事会の開催：名称・定款変更

6/13 名スポ協評議員会の開催

・名称・定款変更の議決、現理事・現監事は任期満了による退任

・新理事・新監事の選任、現評議員の辞任

※変更登記申請：上記⑤終了後、名称・定款変更の手続開始

6/17 新理事会の開催：会長（代表理事）の互選（副会長も）

6/19 名寄スポ協評議員選定委員会：新評議員の選任

※変更登記申請：上記⑦終了後、新評議員・新理事・新監事の変更手続き開始

6/28 ホテル藤花 新組織統合セレモニー

③新組織統合セレモニーについて

期日 6/28（土） 16:00～18:00 ホテル藤花 会費 5,000円（予定）

収集範囲 最大 159名

主催 新法人準備委員会

【発言録】

遠藤：人材募集についてお願いします。

黒井：（詳細については採用に関わるものため割愛）

遠藤：この間のなよろスポーツ協会の状況について

安澤：4月7日によろ一なで競技団体向け説明会を実施した。提案が出てきたので共有しておきます。いろんな会議体がある中で、スポーツをやっている子どもたちが発言できる場があつたらという声があがっていました。他に、大会・合宿時について、宿泊施設の確保が難しいので配宿サービスなどしてくれるといい、イベント日程が被ることで宿泊も使えないことも多いので全体で日程調整して、市内宿泊施設をしっかり使えるようにしてほしいなどもできました。過去にジュニアスポーツバスを持っていたが、また復活してくれないかという声も上がってきました。

筒井：風連は4月10日に理事会を実施しました。

明石：概要について伝えた。みなさんから承認をもらった。

小笠原：Nスポはこの間は特はない。

遠藤：統合スケジュール案について事務局よりお願ひします。

松澤：（資料説明）

遠藤：新組織統合セレモニーについてお願ひします

松澤：（資料説明）

遠藤：みなさんからなにかご意見があれば。功労者表彰についてどう思われますか？？？

小笠原：現協会で表彰規定はありますか？

安澤：永年功労などはあるけど、この表彰とは関係ないと思う。

松澤：感謝状的なものかもしれないですね。

今：ちょっと難しいかもしれないですね。三者が統合して新組織なわけで、そこから生まれる功労賞というのはないのではないだろうか。旧組織としてはあると思うが。新組織としてはどうだろう。ピンとこない。

松澤：事務局も、過去を振り返らずに前を向いていく部分が多かったので。統合の経緯説明などあまり触れすぎない方がいいだろうと思ってはいる。今さんのように、表彰しないパ

ターンもある。

筒井：今さんのいったとおり、旧組織からの功労賞というのはちょっと違う気がする。3つの組織に感謝状、というほうがいいのではないか？

今：三者合意というのが大切ですよね。一本化に努力した、みたいなのはあると思う。功績賞みたいのはないかも。

栗原：各団体に「感謝状」というのも違う気がするが・・・

筒井：新組織としてはお疲れさまでした、であってもいいのでは。

小笠原：いままでありがとうございます、これまでもよろしくみたいな。各団体からスピーチをもらう、というのもあるのでは。なんかもらうと終わっちゃう感じがするし。激励の言葉などもらったら

山崎：終わってしまうというイメージにならないように気を付けてほしい。スピーチはいいような気がする。スピーチのあと、花束とか。名寄も風連も表彰規定で表彰しているので、それを今後どうしていくかを考える必要もある。

阿部：私もスピーチでがんばれのほうがいい気がする。子どもたちから夢を語ってもらうのもいいと思う。

渋谷：このように丁寧に議論して、気持ちが伝わる仕掛けがいいと思います。

遠藤：各団体からスピーチをいただくということにしましょう。記念講演会と子どもたちから

小笠原：子どもたちは懇親会はでない方向かな？

松澤：少しテーブルも用意したいなと思っています。参加するのはオトナで、スピーチするのは子どもを一本釣りしていく感じかと思っている。

小笠原：子どもたちから言葉を、動画でもらってみるのとかもいいかもしれないと思った。

今：子どもたちは3団体の統合は肌身に感じているんだろうか？事前にレクチャーは必要

かもしれないですね。

松澤：子どもは夢を語るという方向で、子どもたちに統合をどうこう、と語ってもらうということではない。

山崎：子どもたちにスピーチするのはいいと思う。全部の少年団などのビデオメッセージなどもいいと思っているが、会場に子どもたちにきてもらうのが大事だなと思う。そこで話したという経験が記憶として残してもらうというのが大事かなと。将来、ここで指導者になるかもしれません。

遠藤：では、記念講演会ではなく、子どもたちに語ってもらうという方向でいきましょうか。また、会費などはどうなりますか？

松澤：表彰がなくなったので、お金はそんなに掛からないかもしれないですね。各会で負担するなど、うまくやりたいと思います。基本会費収入で進めて行きます。参考範囲はどうしましょうか。

小笠原：N スポのみなさんも声かけてください。

松澤：失礼しました、抜けていましたが、そのつもりです。

遠藤：近隣のスポーツ協会との交流などはなかったんですか？広域連携もあるのであれば視野にいれてもいいのでは。

安澤：周年記念などでは声かけることもある。ただ 20 周年の時にはパーティーなどはやつていらない。10 周年のときに声かけたということなので、けっこう前。

今：大きなイベントですし、これからのことを考えると必要かもしれませんね。

遠藤：声かけはする方向にしていきましょうか。

安澤：上川の北部などかもしれないですね。和寒から上です。

今：行政組織もそうなっている。

遠藤：時間については 17-19 時で

松澤：ニューバランス財団 1 年最大 600 万円の 3 年間の助成金があるので、そこに申請する予定。

栗原：少年団登録は任意ですか？

松澤：任意です

栗原：サッカー協会は現在広域になってきていて、高校は名寄・士別・枝幸などと連合してやっている。下川のサッカー少年団がなくなったときに、下川の体育協会自身も少年団がなくなるところまる、ということで囲い込みなども起きたりしていた。今後、近隣体育協会との連携も必要だと思う。

渋谷：登録については過渡期になっている。サッカーなどはジュニアのときからしっかり登録料とろう、となっている。大会への参加はメリットというよりも、受益者として必要な負担をしよう、という感覚。競技ごとに違いがある。少年団登録をしなくても活動できるという状況もあるし。一度、この少年団に関する内容の説明会・会議を設定して、現状をお伝えしながら、今後どうすべきかを統合後に考えていませんか。

遠藤：お願いいいたします。

山崎：北海道スポーツ協会とのつながりについてはどうになりますか？

松澤：一本化して、新しい名前で登録することになります。現時点ではとくに北海道スポーツ協会には打診などはしていない、統合が決まったら、そのまま事務手続きをしようと思っています。

遠藤：最後に阿部さんお願いします。

阿部：今回最後の委員会、お疲れさまでした。意見がこんなにたくさん出てくる会議はそんなにないと思う。まとめるのも遠藤さん大変だったと思うが、お疲れさまでした。